

**2023年度
第2四半期（上半期）報告
説明資料**

2023年11月21日

 **朝日生命保険相互会社**

目次

1. 2023年度 第2四半期（上半期）報告のポイント …p.3
 2. 保険業績の状況 …p.4
 3. 保障性商品の業績の状況 …p.7
 4. 収支の状況 …p.9
 5. 財務の状況 …p.11
- 【ご参考】 中期経営計画の進捗状況 …p.13

1. 2023年度 第2四半期（上半期）報告のポイント

朝日生命グループ※の上半期決算のポイント（※グループ：朝日生命+なないろ生命）

保険業績（新契約）

グループの保険業績（新契約）は183億円となり、前年度上半期実績167億円を上回りました。

- うち朝日生命単体では、96億円と前年度上半期実績103億円を下回りました。
- うちなないろ生命では、昨年度発売の商品が引き続き好調で、6月に発売した新商品も伸展したことから86億円と前年度上半期実績63億円を上回りました。

基礎利益

グループの基礎利益は133億円となり、前年同期と比べ90億円増加しました。

- うち朝日生命単体では、新型コロナウイルス感染症によるみなし入院給付金の減少により保険関係損益が増加し、188億円と前年同期と比べ109億円増加しました。
- うちなないろ生命では、開業から間もないため、新契約業績の伸展等に伴う事業費増加を主因として△54億円と前年同期と比べ18億円減少しました。

朝日生命の主な取組みについて（トピックス）

あんしん介護シリーズの累計販売件数が100万件を突破

2012年に「あんしん介護」を発売し、以降、「あんしん介護 認知症保険」など、介護・認知症保険分野で新商品を開発し、多くのお客様にその必要性を感じていただいた結果、この度、累計販売件数100万件を突破することができました。「人生100年時代」の介護への“不安”を“あんしん”に変えるべく、引き続き、介護・認知症保険分野において、当社独自の商品やサービスを提供する取組みを継続してまいります。



投資用ビル140棟の使用電力を再生可能エネルギー由来に切り替え完了

当社がテナントに賃貸する投資用ビル140棟で使用する電力（※1）につきまして、再生可能エネルギー由来（※2）への切り替えが完了しました。

※1：共用部およびテナントが使用する専有部を含めたビル全体の使用電力を対象としています。

※2：各電力会社が提供するCO2フリーの再エネ電力プランを利用しています

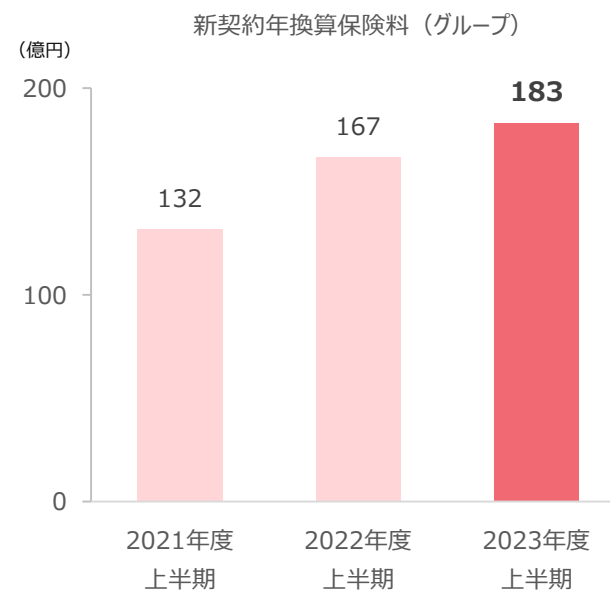
2. 保険業績の状況

新契約（個人保険・個人年金保険）

- ◆ 新契約年換算保険料(グループ)は、183億円となり前年同期比109.4%と増加しました。うち第三分野についても165億円となり、前年同期比111.6%と増加しました。

新契約の状況

区分	2021年度 上半期	2022年度 上半期	2023年度上半期	
			前年同期比	
新契約年換算保険料（グループ）	132億円	167億円	183億円	109.4%
うち 朝日生命※	同上	103億円	96億円	92.8%
うち なないろ生命	—	63億円	86億円	136.3%
うち 第三分野	112億円	147億円	165億円	111.6%



※「うち朝日生命」の2021年度上半期の実績については、なないろ生命分社化前の代理店チャネルの実績を含みます。

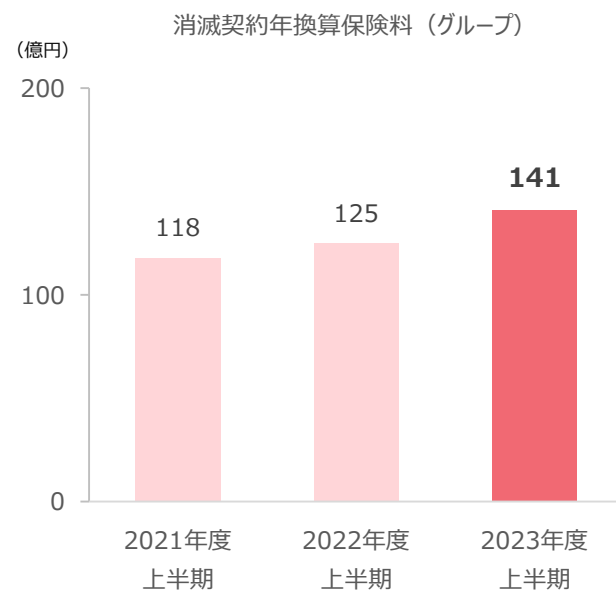
2. 保険業績の状況

消滅契約（個人保険・個人年金保険）

- ◆ 消滅契約年換算保険料(グループ)(解約+失効+減額-復活)は141億円となり、新型コロナウイルス感染症の5類移行によるお客様ニーズの変化・物価上昇などの外部環境変化の影響により前年同期比112.4%と増加しました。

消滅契約の状況

区分	2021年度 上半期	2022年度 上半期	2023年度上半期	
				前年同期比
消滅契約年換算保険料（グループ） （解約+失効+減額-復活）	118億円	125億円	141億円	112.4%
うち 解約・失効契約	111億円	118億円	132億円	112.3%
対年度始消滅率	2.28%	2.45%	2.77%	+0.32ポイント



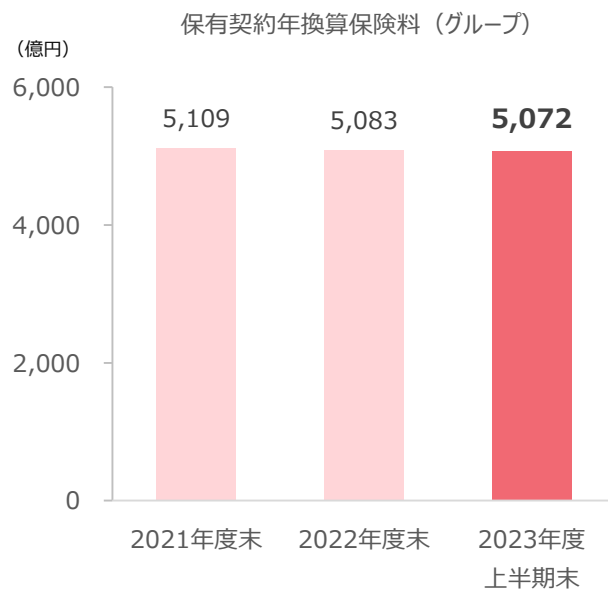
2. 保険業績の状況

保有契約（個人保険・個人年金保険）

- ◆ 保有契約年換算保険料(グループ)は、主に貯蓄性商品の保有減少により、5,072億円と前年度末比99.8%となりましたが、うち第三分野については2,460億円となり、前年度末比102.5%と増加しました。

保有契約の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度上半期末	
				前年度末比
保有契約年換算保険料（グループ）	5,109億円	5,083億円	5,072億円	99.8%
うち 朝日生命	5,072億円	4,917億円	4,829億円	98.2%
うち なないろ生命	37億円	165億円	242億円	146.3%
うち 第三分野	2,277億円	2,401億円	2,460億円	102.5%



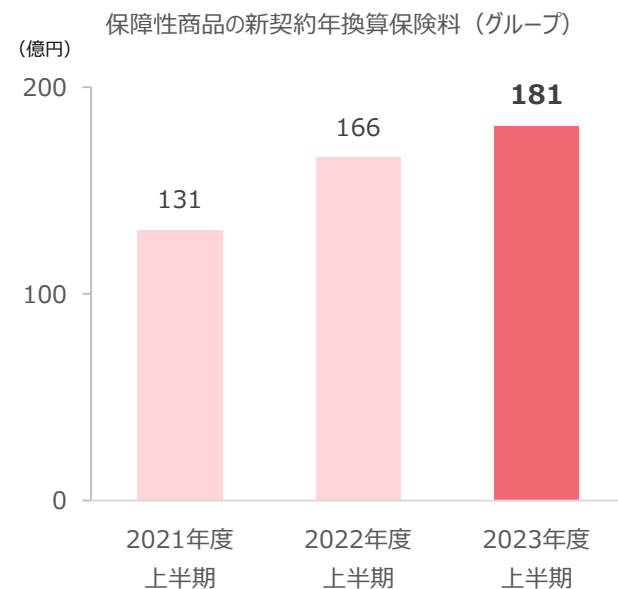
3. 保障性商品の業績の状況

保障性商品の新契約

- ◆ 保障性商品※の新契約年換算保険料(グループ)は、181億円となり前年同期比109.4%と増加しました。

保障性商品の新契約の状況

区分	2021年度 上半期	2022年度 上半期	2023年度上半期	
				前年同期比
新契約年換算保険料 (グループ)	131億円	166億円	181億円	109.4%
うち 朝日生命	同上	102億円	95億円	92.6%
うち なないろ生命	—	63億円	86億円	136.3%



※保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障等の第三分野の合計です。(代理店で販売している無配当団体医療保険を含む。)

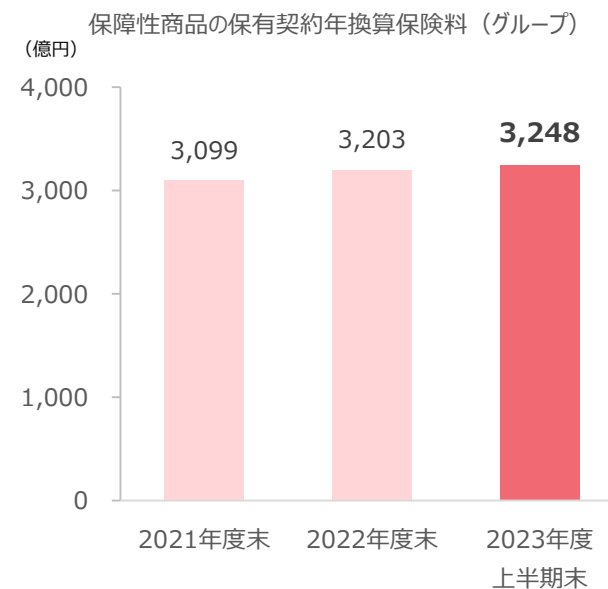
3. 保障性商品の業績の状況

保障性商品の保有

- ◆ 保障性商品※の保有契約年換算保険料(グループ)は、3,248億円となり前年度末差+44億円と増加しました。

保障性商品の保有契約の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度上半期末	
			前年度末差	
保有契約年換算保険料 (グループ)	3,099億円	3,203億円	3,248億円	+44億円
うち 朝日生命	3,061億円	3,037億円	3,005億円	△32億円
うち なないろ生命	37億円	165億円	242億円	+76億円



※保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障等の第三分野の合計です。(代理店で販売している無配当団体医療保険を含む。)

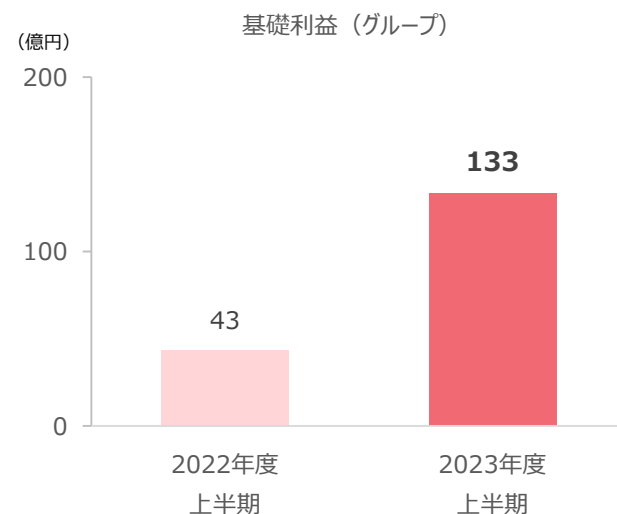
4. 収支の状況

基礎利益

- ◆ 基礎利益（グループ）は133億円となり、前年同期と比べ90億円増加しました。
- ◆ うち朝日生命単体では、新型コロナウイルス感染症によるみなし入院給付金の減少により保険関係損益が増加し、188億円となりました。
- ◆ うちなないろ生命では、開業から間もないため、新契約業績の伸展等に伴う事業費増加を主因として△54億円となりました。
- ◆ 逆ざや額は、主に内外金利差拡大によって為替ヘッジコストが増加したことにより、31億円増加しました。

基礎利益の状況

区分	2022年度 上半期	2023年度上半期	
			対前年同期増減
基礎利益（グループ）	43億円	133億円	+90億円
うち 朝日生命	78億円	188億円	+109億円
保険関係損益	230億円	371億円	+140億円
利差損益（逆ざや額）	△151億円	△183億円	△31億円
うち なないろ生命	△35億円	△54億円	△18億円



4. 収支の状況

＜参考①＞ 保険料等収入の状況

区分	2021年度 上半期	2022年度 上半期	2023年度上半期	
				対前年同期増減
保険料等収入（グループ）	1,925億円	2,052億円	2,130億円	+77億円

＜参考②＞ 経常利益・親会社に帰属する中間純剰余の状況

区分	2021年度 上半期	2022年度 上半期	2023年度上半期	
				対前年同期増減
経常利益（連結）	246億円	139億円	101億円	△38億円
親会社に帰属する中間純剰余	175億円	109億円	68億円	△41億円

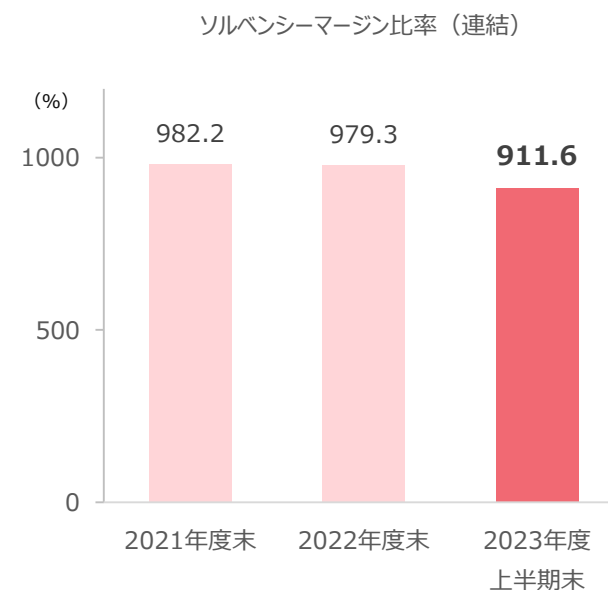
5. 財務の状況

ソルベンシー・マージン比率

- ◆ ソルベンシー・マージン比率は、2022年度末と比較して為替のヘッジポジションを縮小させたことにより資産運用リスク相当額が増加し、連結では911.6%と前年度末に比べ67.7ポイント低下し、朝日生命単体では868.5%と前年度末に比べ64.5ポイント低下しました。

ソルベンシー・マージン比率の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度上半期末	
				対前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率 (連結)	982.2%	979.3%	911.6%	△67.7ポイント
ソルベンシー・マージン比率 (朝日生命単体)	954.9%	933.0%	868.5%	△64.5ポイント



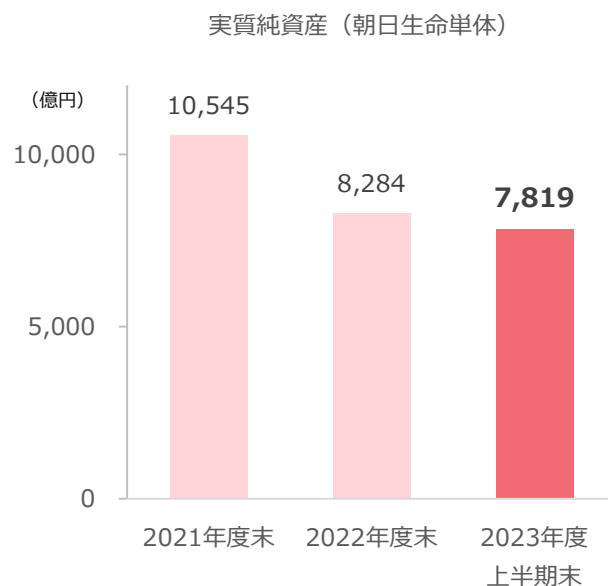
5. 財務の状況

実質純資産額

- ◆ 実質純資産額(単体)は、国内金利の上昇等により有価証券の含み益が減少したことにより、7,819億円と前年度末に比べ、465億円減少しました。

実質純資産額の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度上半期末	
			対前年度末増減	
実質純資産額（朝日生命単体）	10,545億円	8,284億円	7,819億円	△465億円



<参考> 有価証券の含み損益の状況【一般勘定】
（市場価格のない株式等および組合等を除く）

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度上半期末	
			対前年度末増減	
有価証券全体（朝日生命単体）	3,858億円	1,988億円	1,566億円	△422億円
うち 国内株式	2,463億円	2,586億円	3,151億円	+565億円
うち 国内債券	1,342億円	23億円	△1,137億円	△1,160億円
うち 外国証券	19億円	△625億円	△485億円	+140億円
うち その他の証券	13億円	△15億円	22億円	+37億円

【ご参考】 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画 「Advance ～The road to 2030～」 における経営戦略目標の進捗

- ◆ 中期経営計画における経営戦略目標の各項目については、中期経営計画の最終年度である2023年度目標に向けて、着実に進捗しています。
- ◆ グループお客様数については、2023年度目標を達成しました。

経営戦略目標の進捗状況

	2023年度上半期の状況	2023年度目標
グループお客様数	284.6万名 (前年度末差+7.1万名)	280万名
グループ保障性商品の 新契約年換算保険料	181億円 (前年同期比109%)	350億円
グループ介護保険新契約件数	5.7万件 (前年同期比105%)	11.7万件
グループ保障性商品の 保有契約年換算保険料	3,248億円 (前年度末差+44億円)	3,300億円

※保障性商品：保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障等の第三分野の合計です。
(代理店で販売している無配当団体医療保険を含む。)

※グループ：朝日生命となないろ生命